

2023/11/29 神戸新聞

西宮市会 ボーナス削減可決 市長ら 給料も1年間減額

西宮市議会の定例会が28日開会し、厳しい財政状況に陥っている市は、石井登志郎市長と副市長2人の期末手当(ボーナス)や、市長ら特別職7人の給料を減額する議案など47件を提案した。ボーナス削減案は、12月8日の支給に間に合わせるため即日採決され、賛成多数で可決された。

市は2028年度までに約280億円の支出超過が見込まれるとして、来春から5カ年の財政構造改善に取り組むとしている。

ボーナス削減率は市長が20%(約64万円)、副市長が15%(約39万円)。給料削減は来年1月から1年間で、市長が20%、副市長が15%、教育長ら4人が5%減額する。

ボーナス削減案に対する討論では、賛成議員から「財政の危機的状況は予見できたのに、対策を講じなかったトップの責任は重い。遅きに失したが、抜本的な行政改革に取り組むべき」と厳しい指摘が出た。

定例会の会期は12月18日までの21日間。一般質問は4～7日、他の議案に対する採決は15日に行われる。